

# 2022 年度 事業報告

社会福祉法人 晴誉会

## 1、総論

社会福祉法人晴誉会の掲げる理念のもと、以下の各項目において方針に則った保育・教育活動、施設運営の実現を目的として、下記のとおり事業を実施した。

## 2、2022 年度の動向

### <新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大>

新型コロナウイルスの感染拡大のため、2022 年度は家庭保育の協力依頼や、保育活動の制限、多くの行事の内容を変更して対応した。

### <法人体制>

2022 年度は、2施設の安定運営を目的とした法人事業活動を行った。

加えて、利用者・職員の健康と安全を第一義に考え、新型コロナウイルスの感染拡大予防を念頭に法人事業活動を行った。

### <地域の保育概況>

2022 年度は茨木市北部域（山手台・彩都の地域）においては、待機児童数が就学前の全年齢で減少しており、あまり福祉ニーズは見込まなかった。

山手台では 2019 年度～2021 年度に山手台新町3丁目への転入による利用者増があったため反落しており、結果として0歳児が少ない状態にあった。

彩都では 2020 年度にマンション群が建ち、2022 年度に新マンションが建つ以外の大きな動きがなかった。

### <運営>

茨木市の抱える待機児童を解消するため、両施設ともに1号枠を開放した。また、過去最大となる児童数と職員数を抱える形となった。

### <事業>

両園共に継続して両施設ともに緊急一時預り保育（地域子育て支援事業）を実施している。

### <人材育成/人材確保>

- ・ 2021 年度は職員の感染予防のため、対外的な研修への参加はほぼ行っていない。

## 3、施設運営・法人運営

### <法人>

- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大による影響が大いにあった。
  - 利用者利用料収入の減少 / 給食費の返金
  - 保健衛生への事業投資
- ・ 法人全体の運営状況としては、当初の想定通りの推移となった。
- ・ 経営状況としては、見込みに対して大きな減少の推移となったため、マイナスの決算となっている。

#### <山手台保育園>

- ・ 園舎は建築 45 年を迎えており、基礎部分での老朽化した設備・備品に関しては、今後の計画的な再購入・再整備が必要となっている。
- ・ 地域の保育ニーズとしては、年間を通じて低いニーズとなった。園児数は微減している。
- ・ コロナ対策の一環として園内壁紙を抗菌壁紙に改修する工事を行っている。

#### <彩都保育園>

- ・ 園舎は建築 15 年を迎え、園舎や基礎部分での老朽化した設備・備品に関しては、今後の計画的な再購入・再整備が必要となっている。
- ・ 地域の保育ニーズとしては、年間を通じて高いニーズが感じられた。園児数は過去最多で推移している。
- ・ 保育時間に関しては、前年に継続してフルタイムの利用者、特に登園時間の早い利用者が多い結果となった。

### 4、事業報告

#### <総論>

2022 年度も、当法人においては利用者・職員の健康と安全を第一義に考え、新型コロナウイルスの感染拡大予防を念頭に、できうる限りの保育サービスの維持と、児童の笑顔の創生のための保育に努めた。

### 5、その他

特になし。

以上